

### 品種解説：「はなの舞」

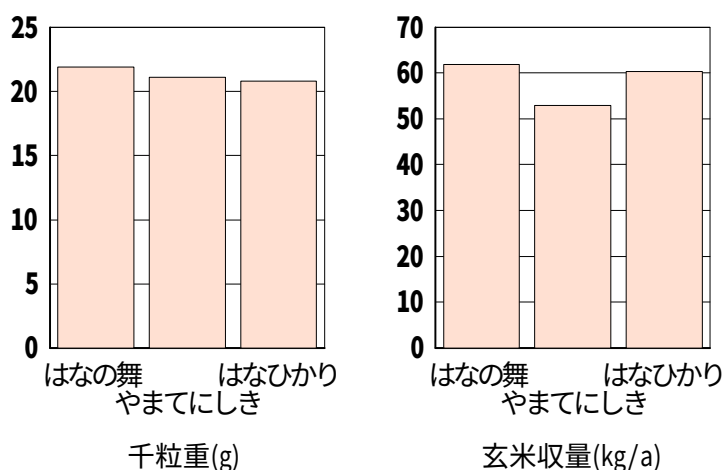
**概 要：**本品種の障害型耐冷性は“極強”である。名前の意味は、“毎日の食卓を華やかに彩るおいしいお米。花びらが米の中で舞うように、ひとつ粒ひとつ粒キラキラ輝く新鮮なお米。”であることを表現する。

#### 1. 来歴の概要

「北陸 99 号」を母とし、「コシヒカリ」を父として、1974 年に山形県農業試験場庄内支場で人工交配された。1981 年に「庄内 32 号」の系統名が付けられ、1987 年に「はなの舞」として登録された。

#### 2. 形態的特性

- ・ 稈 長：「やまてにしき」よりやや長い。
- ・ 穂 長：「やまてにしき」よりやや短い。
- ・ 穂 数：「やまてにしき」よりやや多い、“中間型”のうるち種である。
- ・ 千粒重：「やまてにしき」並みで中粒中形である。（下図参照）。(「どまんなか」と「ササニシキ」の中間である。



#### 3. 生態的特性

- ・ 出穂期：「やまてにしき」並みで、「どまんなか」より7日早い。育成地では“早生”である。
- ・ 収量性：「やまてにしき」より優り、「はなひかり」並みである（上図参照）。(「どまんなか」よりやや劣る。)
- ・ 耐倒伏性：“やや強”であるが、多肥栽培では倒伏（挫折倒伏）を招きやすい。
- ・ 葉いもち抵抗性：“やや強”
- ・ 穂いもち抵抗性：“中”
- ・ 耐冷性：「ヨネシロ」並みで、「レイメイ」より強い“極強”である。
- ・ 穂発芽性：「はなひかり」より少ない“難”である。

| 特 性     | はなの舞 | やまてにしき | はなひかり |
|---------|------|--------|-------|
| 耐冷性     | 極強   | —      | —     |
| 耐倒伏性    | 中    | —      | —     |
| 葉いもち抵抗性 | やや強  | —      | —     |
| 穂いもち抵抗性 | 中    | —      | —     |
| 穂発芽性    | 難    | やや易    | やや難   |

#### 4. 品質・食味特性

- ・品質は透明度が高く「やまてにしき」並みに良質で、整粒歩合は高く安定している。
- ・玄米の外観品質は「やまてにしき」並みの“上の下”である。
- ・食味は「ササニシキ」並みで、“上の下”である。

#### 5. 適地等

- ・早生品種であり、耐冷性が強いことから、山間部の主力品種として、また、中山間地の組み合わせ品種に適する。

#### 6. 基本指標

- ・作付け適地が中山間・山間地帯であることを考慮すると、収量目標は 550kg/10a とする。
- ・分けつがとれにくく、稈長が伸びやすい特徴から、平方メートル当たり穂数 450 本、稈長 90cm 以下を目標とする。
- ・粳数は、品質・食味の特性を十分発揮させるため、平方メートル当たり 3.2 万粒が適正である。

#### <参考資料>

- ・平成 11 年 3 月発行、山形県「稲作指針」など。